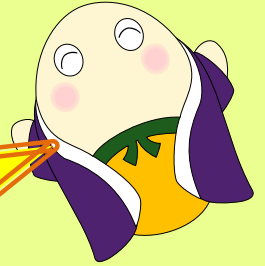




# 木の家は地震に弱くないの？

**法的に定められた耐震性レベルは構造の種類に関わらず同じ！**  
 基準にしたがって建てられた建物は、木造でも鉄筋コンクリートや鉄骨造でも同等の耐震性能をもっています



©京都府 まゆまる  
2758008

## 建築基準法で定められた耐震性能レベルは、構造種別に関わらず同じ！

施主や設計者が設定する目標性能が同じであれば、地震の耐え方に違いがあるものの、**構造種別の違いによる耐震性能レベルの違いはありません。**現在、日本では建築基準法で「耐震等級」というものが定められています。しっかりと設計されたお家であれば、木造でも木造以外でも安心できる住まいになります。

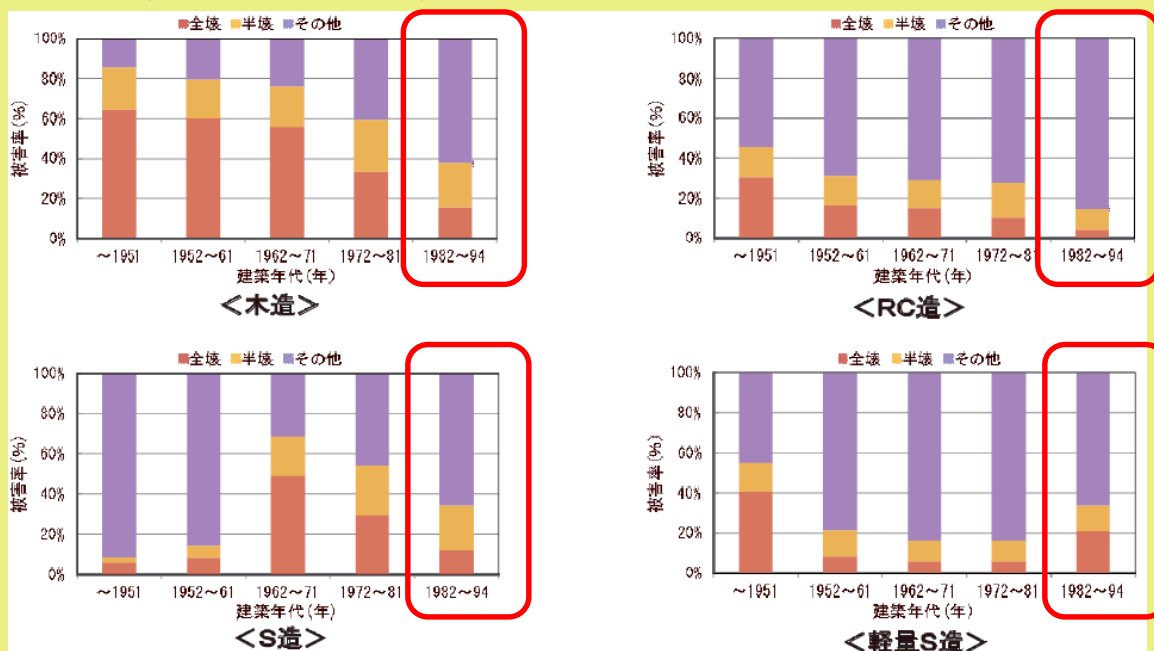
耐震等級	
等級1	建築基準法がすべての建物に求めている最低基準 極めて稀に(数百年に一回)発生する地震による力に対して建物が倒壊、崩壊等しない程度
等級2	震等級1の1.25倍の地震に耐えられる性能・耐震強度の水準
等級3	耐震等級1の1.5倍の地震力に耐えられるだけの性能・耐震強度水準



## 大震災時の木造建築の全倒壊率は他構造と比べて大きくない!!

大震災発生時における最新の耐震基準(1981年新耐震基準)を満たした**木造建築の全壊率は、他構造と比べて顕著に劣っていない**といえます。2016年に発生した熊本地震でも同様の傾向があることが分かっています。

＜阪神大震災(兵庫県南部地震)における建築年代の区分ごと工法ごとの被害率＞



出典: 科学的データによる木材・木造建築物のQ&A